

令和4年度 夏の体験ボランティア！ 応募多数で大盛況！！

■夏休みの期間を中心に、青少年が体験できるボランティア活動を一堂に記したリーフレットを全県下の中高校生に配布。中高校生が自らボランティア活動に申し込み、ボランティア活動を体験する事業です。ボランティア活動を企画していただいた受入実施団体の皆様、リーフレット配布に御協力いただいた各市町村教育委員会、各中学校、各高校の関係者の皆様に御礼申し上げます。

■今年は52企画が集まり、多くの中高生がボランティア体験をしました。中学生**186名**・高校生**497名**の参加がありました（9月20日時点）。コロナ感染拡大防止のため残念ながら16企画が中止となりましたが、それでも、昨年度と比べ**総参加者数は2倍以上**になりました。実施団体からは『予定した受入れ人数を大幅に超える希望申込があり、数十件お断りすることになりました。それだけボランティア活動に前向きな学生が多いことに感心しました。』という報告を数多く受けています。「夏の体験ボランティア」は、県教育委員会の地域青少年ボランティア活動推進事業として毎年行っています。次年度以降も事業を継続してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

令和4年度 夏の体験ボランティア企画数と参加者数

	総企画数		総参加者数													
	R4	R3	小学生		中学生		高校生		学生		その他		担当職員		計	
村山地区	11	7	0	0	63	71	234	32	0	2	3	14	6	16	306	135
最上地区	15	5	0	9	21	9	47	18	0	0	2	4	7	72	45	
置賜地区	11	7	6	0	22	4	79	79	0	0	16	7	3	8	126	98
庄内地区	15	11	0	0	80	20	137	45	1	1	0	0	6	0	224	66
県全体	52	30	6	9	186	704	497	174	1	3	19	23	19	37	725	344

令和4年9月20日時点

村山

■中止となったり制限が設けられた企画もありましたが、乳幼児との触れ合い、小学生の学習支援活動、清掃活動など、たくさんの中高生がボランティアに取り組んだ夏になりました。2回行われた天童温泉周辺の清掃活動には両日ともに早朝から100名程度が参加して取り組んでくれました。



最上

■各市町村において多くの夏ボラが企画されました。その中の一つ、新庄市で行われた「kitokito MARCHE 運営ボランティア」では、中高生20名が来場者の受付やカフェ・ライス販売等に汗を流しました。参加者の中には、『私は最上地区に住んでいますが、学校で配布されたリーフレットは庄内エリア版であったため、自分でHP等を見てこのボランティアを見つけ参加しました！』と話してくれた生徒もいました。積極的にボランティア活動に参加し、若い力を地域の活性化のために注いでくれる、大変ありがたいことです。



庄内

■幼児・小学生との触れ合い、介護施設での交流、祭りの運営等のボランティアが行われました。その中の一つ、「Yボラサマーチャレンジ in 庄内」では、2日間で庄内地域の中高大学生合わせて27名が参加しました。サークル紹介では「来夢来人」「かざみどり」の他に「来夢来人」とコラボで活動している最上地区の「SAKEKKO」も参加しました。サークル同士の連携・協働の1つとして先進的な取り組みでした。コロナ感染拡大のため内容が変更となりましたが、5つのブースでバルーンアート、折り紙、スライムづくり、恐竜の卵、ぶんぶんごまを体験しました。



置賜

■南陽市、長井市、飯豊町で多くの夏ボラが行われました。南陽市健康長寿センターで行われた「心のバリアフリーについて知ろう！」では、障がい者に関わる講演、さらには様々な施設とリモートで結んで交流・学習を行いました。また、8月の豪雨災害後には災害ボランティア活動にも多くのみなさんが取り組んでくれました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。



主催事業 「ボランティア実践セミナー」

■9月3日(土)、高校生・大学生合わせて14名が集まり、「ボランティア実践セミナー」が行われました。午前の講演では南陽市青年グループ「Zu-Zu-Z」の小川真実さんを講師にお迎えし、「地域食堂あまやどりの活動から考えるSDGs」というテーマでご講演をいただきました。午後からは山形県立山辺高校の海老名智美先生から「世代間交流のスキルを学ぶ」というテーマでワークショップを行っていただきました。その後、「世代間交流の実践(オンライン)」において、高齢者施設との交流のボランティア活動を行いました。参加者の感想に、『これから大学や社会に出ると今までよりもいろんな方との交流が増えると思うので、今回のような出会いと経験ができてとても良かったです。これからも積極的に様々なボランティアに参加していきたいと思います。』とありました。今回のセミナーをきっかけに、様々なボランティア活動の場で皆さんが活躍してくれることを期待しています。



主催事業 青少年防災・減災未来フォーラム2022

■9月17日(土)、青少年防災・減災未来フォーラム2022が35名の高校生が参加し行われました。県防災くらし安心部の古川昭彦氏から「災害時、何が必要か?」という題目でご講演をいただきました。また、東北大学講師で、元宮城県石巻西高校校長の齋藤幸男氏による、東日本大震災のご経験をもとに「避難所運営の実際と教訓」「災害初動期からの対応」という題目のワークショップが行われました。Web型の速やかな組織づくりや、各セクションが判断し実行することの大切さ、避難所において高校生が非常に大きな役割を果たすことなどを深く学びました。

■8月の置賜地方を中心とした豪雨災害では、避難所が水没するという事態も起きています。これまでの常識や経験を超えた事象が全国各地で起きていますから、楽観視したり情報を鵜呑みにしたりせず、自らの命を自ら守る意識を常に持っていたいものです。『私は大丈夫』なんて思っただけではダメですよ!



青年の家 HP & twitter & Instagram

HP



合宿利用ありがとうございました! <<山形西高書道部・山形大学競技舞踏部>>

■8月10日~12日まで山形西高書道部のみなさんが、8月26日~30日まで山形大学競技舞踏部のみなさんが青年の家で合宿されました。張り詰めた緊張感の中で書に向かう西高生、元気・笑顔・凛とした姿で踊る山大生、みなさんのおかげで青年の家に活気が戻りました。今後のご活躍に期待しています!



8・9月の利用団体

【日帰り利用】

- ・KBC(バドミントン) ・KSB(健康促進)
- ・バスケットボールスクール ハーツ
- ・1st.Rev.BC(バスケットボール)
- ・R48バスケットボールスポーツ少年団
- ・天童ミラクルV.C.LUB(バレーボール)
- ・スマイルスター(ダンス)
- ・放課後等デイサービス事業所つぼみ(レクレーション)
- ・ローターアクトクラブ
- ・フルハウス山形支部
- ・山形県教育庁生涯教育・学習振興課「東北大学社会教育主事講習」
- ・山形県民間教育研究団体連絡協議会
- ・山形放送株式会社

【宿泊利用】

- ・山形県立山形西高等学校書道部
- ・山形大学競技舞踏部

ご利用ありがとうございました!!

今後の主催事業

10月19日(水)

若者自立支援体験活動2

「アートでわいわい」

11月12日(土)

家庭教育支援研修会2

「コミュニケーション×アート」

申込期間: 9/30(金)~10/27(木)

対象: 小学校低学年の子どもと保護者

12月10日(土) 内陸

12月18日(日) 庄内

「地域をつくるリーダーセミナー」

申込期間: 10/25(火)~11/24(木)

対象: 高校生生徒会等のリーダーおよびその指導者

※詳細は山形県青年の家ホームページで!

メンバー募集中

詳しくは青年の家までご連絡を!



青年の家コーディネーターボランティアサークル

「nico こえ」

現在、大学生3名、高校生13名で活動しています。グリーンモール天童商店街活性化共同企画、小児がん患者を支援するレモネードスタンド、世界にきれいな水とトイレを供給するウォーターエイドへの募金活動、幼児とのクリスマス会など、第2・第4日曜日を活動日として楽しみながら活動しています。

